

明治三十四年四月發行

高等國語讀本要解 丙

東京 金港堂書籍株式會社

高等國語讀本要解 丙册

卷五

一丁

西村茂樹

居交易・出交易

顧客

出張大

市場

價值

來航

勝手

一丁

跣促

剛毅

居ルザマ

準備

堅牢

海員

一丁

剛毅

剛毅

トコ

智略

習慣

漫然

姑ク

一丁

巡

歴

博シ

外交

推古天皇

使節

御使者

留學生

征服セラレ

宇多天皇

宇多天皇

宇多天皇

宇多天皇

代十九

建議

四丁

來寇

滅ビ

錦繡

獵

虎皮

獵虎ノ海獸ノ名ニシテ北海道ノ千島近傍ノ海ニ産ス、大ナルハ五六尺甚ダ細ニ似タリ、四脚

尾共ニ短ク、毛色黒茶色ニシテ極メテ柔軟ニ、四方ニ摩スルモ順逆ナシ、故ニ其ノ價甚ダ貴シ

天

天

天

天



文 今ヨリ凡ソ三百四  
五十年前ノ年號  
葡萄牙 歐羅巴洲ノ西南隅  
耶蘇教 「キリシト」教トモ云フ、ソノ頃  
ハ「キリシタン」宗ト云ヒキ、耶

形跡 カト 嚴ニシキ 重ネテ 安南 印度支那ノ内  
和蘭 御朱印船 御朱印ハ當時將軍ノ印ナリ  
即チ御許シノ船ト云フコト

島原 慮カリ ヘルコト 長崎ヲ除クノ外 長崎ダケ  
ハ許シテ

吉 數額 タカ 濫出 ヤダラニ 誘ヒ スコト 互市 交易チ  
明 カシコク發 殖産興業 産物ヲフヤシ人民ノ生

儒臣 幕府附キ 青木昆陽 名ハ敦書、通稱ハ文義、武藏ノ人ナリ、幕府ニ  
テ修メテ洋學ノ開祖タリ、初メテさつまいもノ種ヲ薩摩ヨリ取りヨセ、

六丁 古法 シキタリ 條理ヲ執リ スゲアヒテ 外艦 外國ノ 亂暴 化文

忌ム ライミキ 宇内交通ノ風潮 世界ノ國  
附キ合ナシヨウト 遏ムベクモアラズ 中々止メルナドト云

親通商 好ミテ結ビテ互ヒ 尋イデ 攘夷 紛然 スルサマ 騷ガシク

安政 今ヨリ凡ソ四十 假條約 神奈川 王政 天皇政ヲ爲シ

七 獎勵 マスモト 略史 ノ歴史 版圖 領地チ 版ハ月籍、圖ハ地圖ナリ

建國 初メテ國ヲ立テ 舊く 定かに カニ 堯舜 二帝 堯名ハ放勳、陶唐氏ト稱ス、

至治の世 至ツテ太 未曾有 マダ是レマ 禹 姁姓、姁ハコ

子ナリ 暴君 タグル君 湯王 名ハ履、姓ハ子、大乙ト號

周ノ武王 名ハ發、姬姓ナリ 八丁 綏靜天皇 秦 始皇 名ハ政、姓

高祖 姓ハ劉、名ハ季、始 魏 曹操即チ太武 蜀 劉備即チ昭烈 吳 孫權チ 成敗

を争へり  
互ニ天下ヲ取ラント争フヲ云フ

輔ケ成セリ

關羽

〔字ハ雲長、劉備ト義ヲ結ビテ兄弟トナリ、戰ヒ毎ニ武勇絶倫ナリシガ、〕

張飛

〔字ハ翼徳、亦劉備ノ義兄弟ナリ、人ト爲リ猛悍ニシテ〕

關羽

〔後吳ノ孫權ノ兵ト戰ヒテ死ス、今ニ至ルマテ支那ニテハ神トシ祀レリ〕

英才

ルスケレタ

晉

一統

天下ガ一ツニマツラレル

南北

東晋チ南朝トシ、北魏チ北朝トス

兵争

隋侯

楊堅

即チ隋ノ高祖ナリ

唐

即チ唐ノ高祖神堯

皇帝

文物制度

文物トハ衣冠服制宮室等ノ美ヲ云フ、制度トハ政治ニカ、ハル總テノ定メヲ云フ

阿部仲麻呂

〔中務大輔、船守ノ子ニシテ〕

靈龜二年唐留學生トナリ、唐ニ赴キ姓名ヲ易ヘテ朝衡ト云フ、唐ノ玄宗帝左補闕ヲ授ケ、累進シテ秘書監トナレリ

秘書監

唐ノ官名

玄宗皇帝

名ハ隆基

五代の世

後梁、後唐、後晋、後漢、後周、之レチ五代トス

國祚の短促なる

國朝ノツツクコトガ至極ミシカキヲ云フ

宋

〔初代チ趙匡胤ト云フ、其ノ先ハ漢ノ人ナリ〕

遼

〔初メ契丹ト號ス、潢河ノ北ニ住セリ、五代後梁ノ時、其ノ酋長阿保機自立シテ帝ト稱シ、臨潢ニ都シ渤海女眞、突厥ヲ攻メテ之ヲ從ヘ、南進シテ支那ノ數州ヲ略取セリ〕

忽比烈

〔始祖鐵木眞ノ子ナル拖雷ノ子ナリ、即チ元ノ世祖〕

金

〔始祖姓ハ完顔名ハ阿骨打、其ノ先ハ世々蠻族女眞ノ酋長ニシテ遼ニ臣屬シテ帝ト稱シ、臨潢ニ都シ渤海女眞、突厥ヲ攻メテ之ヲ從ヘ、南進シテ支那ノ數州ヲ略取セリ〕

明

〔初代チ朱元璋ト云フ、太祖ト諡ス〕

清

〔初代チ努爾哈齊ト云フ、姓ハ愛親覺羅、太祖ト諡セララル、其ノ先ハ滿州ノ族長ナリ〕

元

〔始祖成吉思汗ト云フ、諱ハ鐵木眞、姓ハ奇渥溫氏、韃靼蒙古部ノ人ナリ〕

明

〔初代チ朱元璋ト云フ、太祖ト諡ス〕

清

〔初代チ努爾哈齊ト云フ、姓ハ愛親覺羅、太祖ト諡セララル、其ノ先ハ滿州ノ族長ナリ〕

長髮賊の亂

〔巨魁チ洪秀全ト云フ、清朝チ倒シ明朝チ復スルヲ名トシテ亂ヲ作シ其徒チシテ〕

徒

北京駐劄

支那ノ首府北京ニ滞在スル

聯合軍

組合ヒタル軍勢

蒙塵

天子ガ國難ニアヒテ他ノ地方ニサマヨフチ蒙塵ト云フ

義和團匪

支那ノ首府北京ニ滞在スル

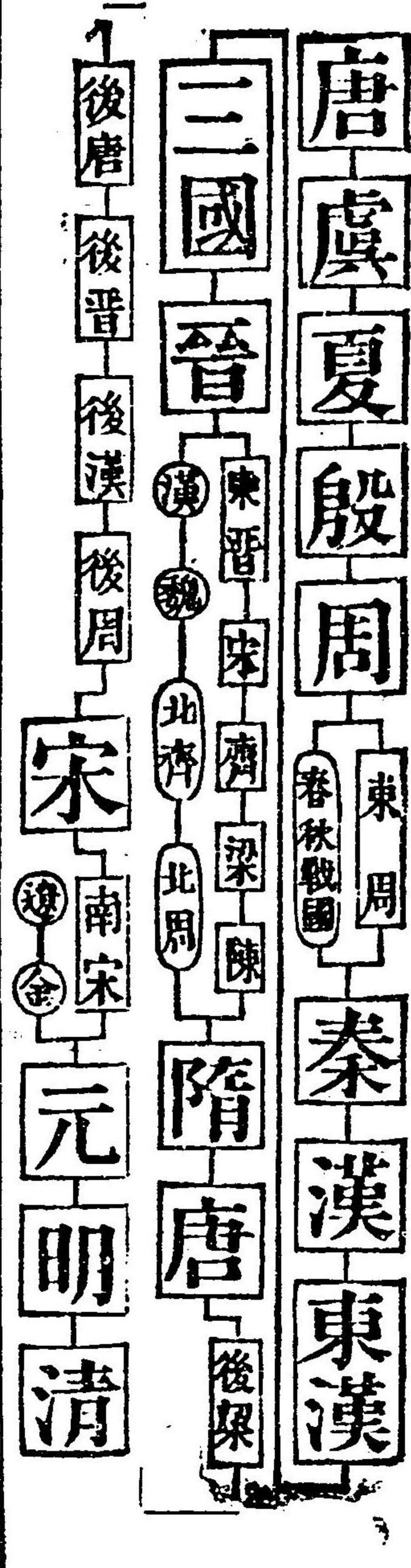
聯合軍

組合ヒタル軍勢

蒙塵

天子ガ國難ニアヒテ他ノ地

支那世系略



箕子

〔殷ノ紂王ノ時ノ忠臣ナリシガ、殷亡ビテ後周ノ武王之チ朝鮮ニ封ゼリ〕

平壤

朝鮮ノ舊都ナリ

遺臣

國亡ビテ後

衛滿

〔支那戰國時代、燕ノ人ナリ〕

馬韓

辨韓

辰韓

任那

攻伐

王建

〔京畿道ノ松嶽ニ都シ、國號チ高麗ト云フ〕

統一

スベテメルトニマツメルコト

李世桂

禪

侵

略

兵力ヲ以テ地ヲ取ルコト

服事

從ヒツカヘルコト

認め

交誼

ツキアヒノヨシミ

釜山

元山

仁

川 十 倣ひ 始末 好意 朝鮮の内亂 天津ニ於テ條約云云

朝鮮ノ閔氏一族及ビ韓民ヲ煽動シテ王宮ヲ襲撃シ、我が衛兵ト戦ヒ、大臣金玉均等我が國ニ逃レ來リシ事變ヲ云フ

我が國ハ伊藤博文ヲ支那全權大使ニ任シテ支那ニ往カシメ、天津ニ於テ直隷總督李鴻章ト談論數回ノ後、遂ニ條約三款ヲ結ビ、其ノ三ニ曰ク、撤兵後若シ朝鮮ニ重大ノ亂起リテ日清兩國カ或ハ一國ガ派兵ヲ要スルコトアル

時ハ互ニ文書ヲ以テ知照スベシ云々

東學黨 朝鮮ノ南端全羅道ニ蜂起シ、忠清、平安之ニ傳

吏民 役人 掠メ 奪ヒ 暴横 ランホーチハ

鎮定 定メル 屬邦 シテ他國ニ附屬 動モスレバ

機トシ スルコト 藉リ 内政 國內ヲ治ムル政治

問答 互ニウケコト 專終ニ協ハズ コトガトウノマト

浪速 鋼鐵艦ニシテ、明治十四年ニ造ル、三千七百噸

秋津洲 鋼鐵艦ニシテ、明治二十年ニ造ル、三千百噸

成歡 名地 本營 牙山 敗兵逃奔 皇上

發輦 藝州 蹕ヲ此ニ駐メサセ 敵ノ軍艦二艘ヲ擊

チ沈メ 二艘ハ揚威、一艘ヲ燒キ殲クシ 九連城

鳳凰城 支那音、フンホワンチヤン、盛京省ノ南部ニアリ、奉天府ヲ距ルコト五十三里

金州 盛京省ノ西南角ナリ

關門 砲臺 堅牢無比 大艦 李鴻章

洋艦隊 清國ニテハ北洋艦隊尤モ雄大ニシテ提督丁汝昌之ヲ

欽差 敕命ヲ以テ差遣 總理大臣伊藤博文 外務大

臣陸奧宗光 全權辨理大臣 會見 媾和條約

議定 定メルコト 條款 批准 澎湖列島

太子大博文華殿大學士北洋大臣直隸總督一等肅毅伯

收受 ウケ取 一二億兩 ハ凡ソ我が一圓六十錢ニアタル 通商上 ニ於テノ **十**

許多 タアマ 故アリテ アリテ 還付 カヘス 代償 其ノ代リノツクノヒ 精銳 イイ

無雙 ナラブモノナキヲ云フ 一大快事 大愉快ナ 體格 カラダ 膂力 力量 長上 目上

苦ヲ訴ヘズ 云ハヌコト 訓練 ラシヘ、ナ 兵器精シ 兵器ノスグレ 百以 ヒヤクモツ

テ一ニ當ル 支那人ノ百人ヲ以テ 清淨無垢 キヨラカニシ 紀律 キリツ

取リ方 セツ 節制 調子合ヒ 戰局ヲ收ム イダサノクハリナ付ケル 忠愛ノ情ヲ チユアイ

存ス 君ニ忠義ニシテ國ヲ愛ス 爾來 後 愈御清康 イト云フコト 儲 サテ

兵御適齡 年齢ガ徵兵ニ 首尾能 ヨク 御合格 ゴニゴト 御入隊 ゴニゴト 御宿望 カネテ

御満悦ノ事 オヨロコ 御推察 ゴシ 御自愛專一 御身大切ニナサルコトヲ專一ニシテノ意 御 ゴ

忠勤 忠義ヲツクシテオソツ 希望 ネガヒ 御驥 驥トハ旅行又ハ他所ヘ往 **天**

頌首 カシラヲサゲテ申 現役に服し 現在兵役ニ 御篤懇の訓誨を辱り オソクシケル

し 御親切ナルオサトシニ 何寄の好品 ナニヨリ 銭別 センベン 頂戴 チヨウダイ 忝なく カタク

遵ひ ヘイ 平素攝養相勤め 平生養生ヲ 一朝 イチヨウ 擲ち ナゲウ 御省念 御安心

御厚頌陳謝送 御親切ナルヨシミニ對 劉公島日島 何レモ威海衛 朝 アサ

まだき 朝マダ夜ノアケ 蒼海原 アヲウナ 背負ひ セオ 前頭 ゼントウ

臺場 ダイバ 砲火 ホウカ 命中 イチチユ 應砲 オウホウ

けなげ カヒトクシク、殊 奪ひてし てしはてきハ大過 みぢん 微 合 ゴ

撃 ウチ 撓むけしき ヒルム 的 タ 斗より大なる 斗ハ支那ノ樹ナリ、

容シテ斗大ト云フ **斗** 逆リ トビ走 あらばこそ 無シト云フ意 轟き トドロ

高等國語讀本要解丙册

雷 日頃 火藥庫 破裂 激戰 いさむ 功名チ

澎湖列島 大小五十餘島アレドモ人民ノ住居セルハ廿餘島ニ過ギズト云フ 高砂 迫リ 福建省 支那音「フ

瀕セリ 臺北臺南 臺東 重疊 棲息

土壤肥沃 新高山 相伯仲シ 一條ノ川流

淡水 滬尾 水社湖 土蕃 波濤

貫通 灌溉 寄港 岳風

基隆 安平打狗 海里 寄港 波濤

省城 首府 周歲 岳風

旱魃 霖雨 荐ニ 陰晴 落花生 島

嶼 漁翁島 カメ 栽培 風波平穩

熟蕃 生蕃 風化 行爲 兇猛

一斑 舉動 被フ 殘酷 種族

軀幹 殘忍 舉動 膝掛 被フ 殘酷

秋穫 部落 人頭祭 髑髏 展列

品等 牡丹社 脚半 胸當 外套 花

毛氈 指甲 刺繡 來襲 轉下 壘壁

牆壁 竹藪 繞ラシ 猿猴 迷

防禦 疾走 輕捷 猿猴 迷

信 遠吠 禳フ 晴雨計 水銀

高等國語讀本要解丙冊

如クナレド、尋常ノ氣温ニテハ水ノ如キ液體ヲ成シ、水ヨリ重キコト十三倍半ナリ、此ノ物長  
砂ヨリ製シ取ルベシ、むらす鏡ニ塗リタルモノ、又ハ寒暖計ノ管ノ中ニ盛リタルモノ是ナリ  
開イタ

隙間 **三十七** 壓シ 壓力 カラスチ 代ニ 不斷 とりせりー 太以

利ノ人ニテ千八百八年ニ生 **零** めきとる尺 佛國ノ尺 **三十八** 増減 へりシ 膨

脹 フクゲレテヒ **原因** ヨリノ大 **度盛ヲ施シ** ノ目ヲシルスコト **關係** アヒ

**三十九** 前兆 前シ **風雨針** 中央氣象臺 **測候所** 氣象ヲハカ **電**

報 電信ノ **三十九** 警戒シ 用心サス **覆没** ヘルコト **一致スル** 一様ニ

區域 リシキ **豫報** 前以テ報知 **沿岸** 海岸ニソフ **一周** スルトマハリ **最**

中 帝都 東京ヲ **亞米利加** 便船 ノフネ **四時頃** ニモアリケン

**四十** 四時頃テモア **豆相房總** 伊豆、相模、安房、上総 **暮色蒼然** グラケナルサマヲ云フ

**三十一** 大海原 大海ヲ **浩々** 廣々トス **黒潮** 熱帯地方ヨリ 來ル潮流ナリ **曉方** アカツキガタ

叫ブ 嬉シク **甲板** 船ノ上ノ廣キ **横雲** 横ニタナヒ **海人** チイフ **釣**

船 現レ 仍 **瀬戸** 兩陸ノ間ニ通ツタ **黄金門** 英語 Golden Gate **輻輳** 集マク

石 石板ノ如キ **砥石** 大ナル家 **尖塔** サホノトガリ **打混ジテ** 打ちマ **板**

漠 峽 兩山ノ間ノセマ **意ハズモ** 思ヒガ **大鹹湖** 英語 Great Salt Lake **嶮**

ソナ **おまは** 名 府ノ **湖畔** 湖水ノ **しかご** 市ノ **三十二** ないやがら

有名ナル瀑布 **大統領** 共和政治ノ 頭役ナリ **官舎** 役宅 **べるのん山** 此ニ米國初代大統領

リ **獨立閣** 英國ノ干渉ヲ拒絶シテ獨立スルニ至ルマテ、十三州ノ代人ニテ國黨政府ヲ設ケシ所ナリ

**大賈豪商** 大アキフ **店舗** 商人ノ見 **三十三** **高架鐵道** 下ニ數多ノ鐵柱ヲ立

モノヲ作りテ之ニ汽車ノ走ルベキ鐵道ヲ布キ **利用** 都合ヨキカタニ **東河** **ばんか**

タルモノナリ **英語 Elevated Rail** ト云フ **東河** **ばんか**



丘の紀念塔

ばんカー丘ハ米國獨立戰爭ノ時米軍ト英兵ト激戰アリタル故跡ニシテ其ノ紀念ノ爲メニ建テタル塔ナリ

瞰下

見オロスコト

ノ光景雙眸ニ集リ

ぼすとん全體ノ景色ガ一目ニ見エルト云フコト

絶觀

スグレタル見モノ

逗留

あ

るらんど

大英國ハすこつとらんど、えんぐらんど、あいるらんどノ三大島ヨリ成レリ

りばーぶーる

えんぐらんどんノ西海岸ノ港ナリ

太利ノ人

歐維巴洲ナル伊太利國ゼのあノ人ナリ

航海者

海チノリマハスコトチカギョートスル者

壯年

ソノサカリノトシ

研

究

ミガキ、キハメルコト

製作

コシラヘ

珍シ

見馴レ

死骸

死ノ人ノ體

研

漂ヒ

浪ニユレ

説

シハナ

果

凡人

ノ人

危ム習

アヤフク

二三ノ

國王云云

初メいたりい國王ニ説キ、次ニほるとがる國王ニ説キシチサス

衣裳ノ飾

寶玉

タカラノタマノ金剛石、剛玉石眞珠ナドノ類チ

要用品

ノ品

具ヘ

ヘルロ

乗組

船ノリ

國旗

朝風

翻シ

ばろすノ港

いすばにや國ノ西隅ニアル港ナリ

出帆

船チ出スコト

西曆

西洋ニテハ耶穌(ヤソ)ノ生レタル年チ以テ紀元トシ、是ヨリカゾヘ

例ナキ

隨フ

ルトモチス

前途ノ目的

モクヂキ

目アテ

海

鷹

ハル一種ノタカ

覘フ

磁針ノ北チ指スガ如ク

シヤクノハリガ、北チサスヨーニ、ころん

風雲ノ偽

風ヤ雲ガ山ノ如クニ見エ、鳥ノ聲ノ如クニキコエテ人チダマステ云フ

一身上ニ歸シ

相謀リ

ソノダンシ

合フコト

猶豫

ツコト

進航

船チス

メルコト

風前ノ燈

ニ齊シク

風ノ吹ク前ニアル燈火ノヨーニホトシテ、下消エントシテ、甚タアヤフキチ云フ

大魚ノ腹中ニ葬ラレン

海

憑ミ

陸地植物

陸地ニ生ズル植物ト云フコト、海中ニモ植物生ズル故之ニ對シテ、シカ云フナリ

幽カニ

烟波ノ中

水中ヨリモヤガマツト立チタル中チ云フ

一聲ノ號砲

ヒトヒビキノ合ヒ

旭日

鬱蒼タル

青タトオヒシゲリタルサマ

さんさるばどる

今ノ中央亞米利加ノ中ノ一小島

中節

屈伸自在ならざりき

ノピチマミガ自由ニナラナカツタ

釐配

七卒チ指揮スル時用フル具

拳

コアシ

前輪

甲冑

本多中務

本多中務大輔忠勝

刀痕

カタナキズノアト

虚飾

カザリ

不覺

兵部少輔

甲冑

本多中務

大輔忠勝

刀痕

虚飾

不覺

を取る 敵ニ出シヌカ  
**四丁** 列車 鐵道  
 栃木縣廳 正北 支

線 本線ヨリ分カ  
 遊覽 見物ス  
 大澤村 老杉 夾ミ 慶安

今ヨリ凡ソ二百五十  
 年バカリ前ノ年號  
 松平右衛門太夫正綱 (幼名ハ長四郎、遠州ノ人ナリ、出テテ松平正  
 七、初メテ家康ニ仕ヘ、慶長八年從五位下ニ叙ス) 夾ミ **四丁** 大幹 大イナ 雲

甘繩本目等ノ地ニ萬石ヲ食ミ、慶安元年六月卒ス) 夾ミ

ヲ凌ギ 雲ノ上ニ出テント 大谷川 神橋 朱漆 赤キウルシニ 欄干 橋ノテ

鍍金 減金(メツ キ)シタル 擬寶珠 欄干ノ柱ノ頭ニ飾ル「ホウシユ」 奇巖怪石 形ノ岩ヤ石 激

シ 觸レ遊ラ フチ云フ 沫ヲ噴キ ツコト 日光ノ結構 世ノ諺ニ「日光ヲ見ヌウチハ結構ト云  
 用ヒタルモノナリ

徑 サシヲ 表門 彫刻 モノ 極彩色 色極上ノ 唐獅子 安置 石

此ノ諺ノ意ヲ取りテ 老杉森森 フルキスキノ木、コン モリトシゲルサマ 一條 チ一ス 爪先上リ 直

垣 石材 材料ニ用 ヒタル石 鉅大 極メテ大 キナル 縱全高ヲ 占メ 縦ノ長サ石垣ノ下カ ラ上マテ通ルチ云フ 鐘

樓 鼓樓 釣燈籠 釣鐘 **四丁** 蓮燈籠 蓮花ノ形ナナ セルト一ロー 日暮御

門 陽明門 獻備 獻上シタル ソナヘモノ 燈臺 ト一ミヨ 鑄造品 キテ作り タル物品 蓋シ

丹青 使ヒ方 フニ同ジ 精細 巧妙 極コマカニシテ、手ギ 日ノ傾ク

日ノ暮レ 妙手 人名 狩野探幽齋守信 (孝信ノ長男ニシテ、幼名ハ四郎二郎、又采女ト云  
 後救命或ハ台命ニ由リテ壽事) 安信 (ノ號アリ、後法眼ニ敘セラル、壽法ヲ家兄及ビ尙信ニ學ビテ其ノ

ヲ勤ム、狩野家中興ノ祖ナリ) 安信 (ノ號アリ、後法眼ニ敘セラル、壽法ヲ家兄及ビ尙信ニ學ビテ其ノ

奥妙ヲ極メ、遂ニ一家ヲ成セリ) 土佐將監光起 (從五位下左近將監ニ任ツ、髮シテ法眼ニ叙  
 世ニ之ヲ中橋狩野ト稱セリ) 左甚五郎 (有名ナル彫刻家ニシテ兼ネテ工匠ヲ善クシ、伏見ノ人ナリ、族ヲ伊丹ト稱ス  
 テ尤モ妙) 手トス

アリ、寛永十一 歴覽 アチコトトメ 唐門 唐木 紫檀、烏木(コクタン)ヲ 拜殿 殿本

年四月歿ス 門牆 門ヤ 賞贊ノ詞ヲ措クヲ知ラズ 何トホメ

ノ前ニ建テタルモノニシテ、 即チ神ヲ拜シオガム所ナリ 唐門 唐木 紫檀、烏木(コクタン)ヲ 拜殿 殿本

程テアル 鳳凰ハ桐ニ栖ミ云々 此レハ彫刻ニ此クノ如キモノ、形 虎嘯キ

龍舞ヒ

彫刻シタル虎ノ形ガ極メテ巧ナルユエ、虎ハホエ龍ハチドラントスルガ如キサマナルチ云フ

桁梁

彫紋

綾錦

總金ノ床板

ソータイニ金箔チオキタルユカイダ

何ゾ限アラン

限リナキチ云フ

石階

優美

華美

ハテヤカニウツクシキコト

眠猫

猫ガネムツテ居ルカタチチ、キザミタルモノナリ

玉垣

級

晦ク

金色ヤ青ビカリ

崇高森嚴

尊ク、リ、シキサマチ云フ

唐

銅

銅ニ錫(ス)ンチマセテ作りタル金屬

大寶塔

江戸幕府云々英雄

畢リ

荒山神社

大己貴命(オホアナムチノ)ミコト)チ祀レル社ナリ

地主神

音讀

音讀

中古

中ゴロノムカン

靈屋

詣ヅ

工事

廟所

風致

攀ヂ

ツカマレルコト

裏面

其ノ他ノ瀧

華嚴

中禪寺ノ湖

溢レ

オシゲル

斷崖

半空ニ雲霧ヲ吐キ

吐キ

吐キ

吐キ

本源

モト

斷崖

半空ニ雲霧ヲ吐キ

吐キ

吐キ

吐キ

岩燕

形状畧、燕ノ如クニシテ尾羽ハ短ク且分叉極メテ淺ク、殆ンド分レザルガ如ク、頭ヨリ脊部ニ亘リテ光澤アル黒色ヲ呈シ、腹部ハ白ク尾羽及ヒ翼ハ黒色ナリ、下面ハ頭ニ於ケル黒色小點ノ外ハ總テ白色ナリ、此ノ鳥ハ

豪壯

啞ノ如シ

啞ノ如シ

行程

ノリ

中宮祠

黒髮山

擁シ

綠ヲ凝

綠ヲ凝

明媚

ユカシキ景色

往年

湯元

湯湖

奇勝

奇勝

第一流

第一等ノダ

男體山

險峻

滿山

鬱

鬱

蒼

青々トシタルサマ

石楠花

高サ六七尺ノ灌木ニシテ葉ハ枝ノ末ニアツマリ、本廣ク未狹クシテ厚シ、冬枯レテ夏ノ初メニ薄紫色ノ花ヲ著ク、つ、ち、ニ似テ

下田歌子

生

生

躑躅

合抱

神秀

下田歌子

可否

可否

可否

存上

生活スル上ニ於イテ

外物

侵襲

娛樂

可否

可否

個個人人に影響する所

一人一人ノ身ノ上ニサシヒビキチ及ボスコト

鞅掌

可否

可否

可否

可否

家事

王事鞅掌註ニ鞅ハ猶荷フガ如キナリ、掌ハ之ヲ捧グルチイ

偶

身心

家

家

家

をトす 住宅ノ位置ヲエラ  
方向 東西南北ノ  
水質 水ノ善悪  
排水 水ハキノ  
映

射 射ヲラシ  
得失 レガ損ナルカチ云フ  
購求 トモ  
自他ノ交通 自分ト他人  
トノ行キカ

配置 キカタ  
審に マカニ  
攻究選擇 ラビ分ケルコト  
秩序 次第順立チ

體面上 體裁ノ上  
整然として シヤント正シク  
櫛比 クシノ齒ノ如ク  
富

饒 トミユタカ  
汚穢狭小 キタナク、セ  
柴扉 シバ折 ○木ノ小枝ニテ作り  
物給し 用フ

愛たく 見テ愛スベ  
家計 家ノクラ  
内輪 戸戸 家々チ  
箇條

希はくば 家ノクラ  
要點 肝要ナル箇  
適ひ 詳記  
高燥開

各般ノ事 サマノナ  
餘義なき ヨンドコ  
亞げり  
營

潤 土地高クシテシツ氣ナク、四方ガ  
冥暗ノ室 マツクラ  
鬱結 氣ノムスホレ  
神氣 心チ

養 生活ヲ全クスルヨ  
冥暗ノ室 ナルヘヤ  
鬱結 フサガルコト  
神氣 イフ

地 土  
溜水 接近したる  
腐敗 コト  
有毒ノ瓦斯

刺 人身ニ毒チナス、瓦  
混り 瘡 病ヒ  
赤痢 痢病ノ一種ニシ  
腸窒扶斯・虎列

刺 空丁 濕潤ノ地 多シメリ氣  
努めて 牀下 敲き  
砂利、赤土、石

しあれば 同シ、ハ只休メコトバニテ意味ナシ  
空丁 思惟 思ヒカンガ  
奴婢

下女 家風 一家ノキマ  
風儀 慈心 ゴコロ  
膝下 モト  
藹然たる和氣

賢良高潔 カシコクシテ行ヒノケダ  
家法 一家ノ  
長を敬ひ 目上ノモノチ  
混

賢良高潔 カシコクシテ行ヒノケダ  
家法 一家ノ  
長を敬ひ 目上ノモノチ  
混

賢良高潔 カシコクシテ行ヒノケダ  
家法 一家ノ  
長を敬ひ 目上ノモノチ  
混

賢良高潔 カシコクシテ行ヒノケダ  
家法 一家ノ  
長を敬ひ 目上ノモノチ  
混

賢良高潔 カシコクシテ行ヒノケダ  
家法 一家ノ  
長を敬ひ 目上ノモノチ  
混

人ノ妻タル  
モノヲ云フ  
率ヒキぬ  
スヒキマハコト  
社會シヤクワイ  
單獨タンジクニテ  
テト云フコト  
一定イツテイ  
マリタル

相倚相須アヒヨリアヒツ  
ツスルヲ云フ  
五五ゴゴ丁  
幸福相慶コフフクアヒケイシ  
幸福コフフクガアレバ互  
ニ祝ニヒ合ヒフコト  
艱難カンナン

相憐アヒアハレム  
災難アザナシガアレバ互ヒニア  
ハレミ助ハレミケ合ケフコト  
團體ダンタイ  
一ツイツニ集シユリタ  
ル組ル合コウチ云フ  
集シユ合コウ體タイ  
卒ソツ伍ゴ  
兵卒ヘイソウノ五人  
組クミチ云フ

分離ブンリスベカラザル  
分クケハナスコ  
トノ出デ來ライヌ  
勞ロウヲ分ワカチ  
骨折ボネシル事コトガアレバ、互  
ニ分ニケテナスコト  
扶タスケ

反響ハンキョウ  
ハネカヘツテサ  
助成シュセイ  
タスケテ成ナルコト  
享ウクル  
五五ゴゴ丁  
調和チヨウワ  
善ゼンク一致  
スルコト

圖ハカル  
隆盛リョウセイヲ致イダシ  
盛大セイダイニナ  
ルコト

卷六

一丁イツテイ 西村茂樹ニシムラシゲキ  
共和政體キョウワセイタイ  
國ノ憲法ケンポウニヨリ、一般人民イツパンレイミンヨリ選舉シヨウゴセル大  
統領トウテイアリテ國政コクセイヲ總ソウベク、ル政治セイジヲ云フ  
姑シバク

尊戴ソンダイ  
タツトビイ  
革命カクメイ  
政府セイフノシバク  
變換ヘンクワン  
リカハ  
終始シュウシする  
トモニハツマリ、  
トモニチハルチ

二丁ニテイ 閻弱不德エンジヤクフツクの君キミ  
愚オロシリニシテ君キミタル  
德トクノ無ナシキチイフ  
英傑エイケツの人ヒト  
スグレテ  
エライ人  
二丁ニテイ 純ジュン

然ゼンルサマ  
連綿レンメンとして  
長チカク引ヒキキツ  
ツクサマ  
名分メイブン  
君ハ君、臣ハ臣  
ト云フ名分  
原素ゲンソ  
一ノモノヲク  
ミ立ミテタル原

三丁サンテイ 單一タンイツ純然ジュンゼン  
只ただ一イツスガニテマシ  
勤王キンノウ  
天皇テウテイノ御事ミコトノトメノタメ  
笠置カサギ  
山城ヤマシノ國クニニアリテ  
大和オホヤマトノ國境クニサカイニ接ツス

四丁シテイ 紫宸殿シシンテン  
禁裡キンリノ正殿テイノ名、大禮ダイレイ正式テイシヲ行  
ハセラル、處トコロニシテ一名ハ南殿  
跪ヒザマツキ  
膝ヒザヲツキ中腰ナカウサニ坐イハルコト、  
貴人キイニニ對タガヒスル敬禮ケイレイナリ  
覺サト

メタリ 示サレケルヨ  
「ヨ」ハ感  
動カウナリ  
當寺トウジ  
笠置山カサギヤマノ  
寺テチ云フ  
衆徒シュウト  
僧ソウチ  
武士ブシ

ヤアル 「ヤ」ハ疑問詞、武士ガ  
アルカト云フ意ナリ  
金剛山コンゴウサン  
河内カフチノ國クニ石川イシカワ郡  
ノ東南隅トウナンクマニアリ  
楠多聞兵衛正成クヌタモンヘイエイテイ

藤原藤房フヂハラフヂフサ  
權大納言ケンダイナゴン宣房ノリヒコノ長子チカゴナリ、後醍醐帝ゴトキョウテウニ仕シヘ、參議サンギヲ歷シテ中納言ナカナゴンニ至ツリ、正二位テイニタラシニ叙シセラル、元  
藤原フヂハラノ亂ミダシニ帝テウニ侍シ仕シテ最モ忠節チウセツヲ盡ツクセリ、後帝ゴテウヲ諫シムルコトアリシガ、聽ミカレズ、遂ツニ官クニヲ

其ノ終オシル所トコロヲ知チラズ  
勅使チヨクシ  
天皇テウテイノ御  
使シチ云フ  
館ヤカタ  
居イ宅タクチ  
忍シノビテ  
密ヒソニト  
「微行ミコウス」  
五丁イツテイ

畏カシコマツテ、東夷トウイ  
北條キョウジョウ方カタチサシテ云フ  
大逆ダイギャク  
君キミヘ對タガヒシ奉ホウリテ無  
道ミチヲハタラクコト  
天誅テンチウヲ致イダサ

武略ブリヤク  
軍事クニノ  
テダテ  
怖オソル、聞キコシメサバ  
御聞ミコトキアソバサ  
バト云フコト

天テンニ代タガヒリテ誅罰シツバツ  
ヲ行ユクハル、コト  
武略ブリヤク  
軍事クニノ  
テダテ  
怖オソル、聞キコシメサバ  
御聞ミコトキアソバサ  
バト云フコト



トイソガ スナリ **武士の家**

憂目 場合チ云フ

さめぐと

ナンダチ流シテ、泣キ入ルサマニ云フコトバ

ヨロヒヒタ **鎧直垂**

管絃せしは

管ハ笛ノタケヒ、絃ハ琴ノタケヒチ云フ、即チ音楽ヲ奏シテ居タルハノ意ナリ

げに 實ニ

やさし 優美ナルチ云

見参に入れ 御目ニカケルチ云フ



**修理太夫經盛** 利部

癡忠盛ノ子 即チ清盛ノ弟ナリ

**發心の端** 發心シテ出家ニナル小口チ云フ、直實ハ後ニ出家シテ蓮生坊ト號セリ

**鳥羽の院** 鳥羽天皇 器

量 咽喉

通過セネバナラヌ處チ云フ

古へは、こゝに須磨の關云々

〔紀文集ニ

天智帝ノ御宇、鈴鹿、逢阪、龍田ノ三關ト共ニ關チ須磨ニ置カレシコトヲ載セタリ

謹慎屏居

小罪アリテ勅勒チカフムリ、謹ミノ爲メ籠リ居ルコトナリ

僻地

なるにも拘らず 片田舎デアリナガラ

址 フルキ

**風光清絶** 景色ノサハヤカナルコト世ニスグレタルチ云フ

天井河



撮影 攝津

丘上 小山

**行平の月見の松** 〔菅在原云ヘル公卿ガ勅勒チ蒙リテ須磨ニ謫居セシトキ、村雨、松風ト云フ二人ノ乙女ガ、之ニ侍キ仕ヘタリト云フ小説ノ話アリテ、俗曲長唄ノ中ニモ此ノ事ヲ作り込メリ、サレバ、此等ニ基キテ古クヨリ行平云々ノ名目ヲ附セシ

ナラ 平敦盛 無官大夫

首塚

源光寺

光源氏云々 〔光源氏ハ紫式部ガ作リタル源氏物語ノ主

人公ニシテ、此ノ君ガ罪チ得テ須磨ニ移リ寓セシ事柄ハ彼ノ物語ニ詳カナリ

芭蕉

姓ハ松尾、通稱ハ清右衛門江戸ノ人ニテ有名ノ俳諧師ナリ、元祿七年没ス

句碑 俳句

ザミタ 鑄り付け

ルコト

眺む

榜示 シルシ

路守川

十四

要害

我ニ肝要ニシテ敵ニ害アレ地、即チ險阻又ハ堅固ナル場所チ云フナリ

埋り

一條 ナリ

**鐵拐** 峯ハ武庫山脈ノ西端ニシテ、鶴越ハ即チ

此ノ山中

鉢伏

御料地 帝室ノ御所有地

蒼海茫茫

青々トシタル海ガ、パツトシテ廣キチ云フ

紀泉 伊紀

泉和

繞らし

沙洲海中に斗出

砂土ノ洲ガ長ク海ノ中ニ突キ出テタルコトナリ

呼べば應へん

手ニ取ルヨニ 近キチ形容ス

平遠明媚

風景廣々ト平ヲニテ美シキチ云フ

パミノラマ

又燈臺トモ云フ、右ニカキタル油畫チ廣大ナル建物ノ中ニ裝

ヒ、光線ノ工合ニテ恰カモ眞物ノ如クニ見スル仕掛ノモノナリ

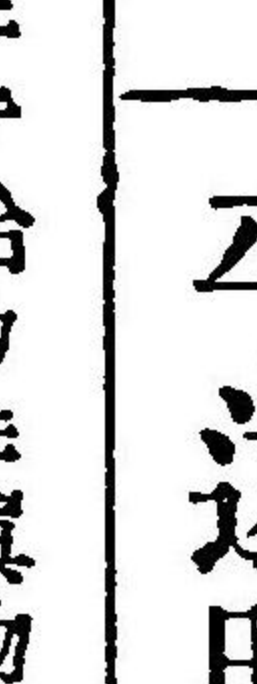
銀を磨す

月光ウツリテピカク、ト光ルサマチ形容ス

醫家

ヤイシ

ば 基ツキ



衛生の學

養生ノ法チ云フ

轉地

平生居ル所ノ土地ヨリ他ノ土地ヘ移ルコト

別莊

離レタル地ニ別ニオクヤシキ

漁村

漁師ノ住ム村ナリ

雜選

人ノコト合フ

金力の侵す

金錢ニテ賣買スルチ云フ

稀 相變ラズナ

餘光

佳境 人々生レツキ受ケタル良キ心即チ徳性ナリ

鄙吝

イヤシクケチナル心

濯ぐ

よすかり便 異境 風土 山ふところ 癖

七六 眼界廣き眺め 勝地 引キ

七 貴顯 規模宏大

七六 駢列 華麗

外周 廓壘 式ヲ一ニセリ 左折

巨大ナル凱旋門 超然

テ 河 解キテ 瘦セ 待合所 衝突 赭色

テ 支流 湖リ 楊子江 歸著

ル 御疎濶 御多祥 欣賀 飛脚船 萬端

御厚情を蒙り 御疲勞 珍談 拜聴仕るべく候 御留守中

貴酬 蒸氣機關 外見 所以 唧筒

簡短 汽筒 篋メ 蒸氣罐 瓣

散逸 交互ニ 一上一下 連結

輓キ 距ル 獄中 沸騰 蓋 視テ

ムスビ附 ケルコト 輓キ 距ル 獄中 沸騰 蓋 視テ



由來 起元ノ  
非凡ノ人物 ナミクニス  
じよーち、すてぶんそん

行動器 進行ス  
適用 フルコト  
目撃

一變 ハラリトカ  
夢ニダニ サヘ  
先鞭ヲ

著ケタル 先キガケテ爲  
〔東普ノ劉琨、曾テ歎ツテ曰ク常ニ恐ル祖逖ガ吾ニ先〕  
大成 十分ニ仕

船大工 船ヲ造  
暖爐 室内ヲアタムル爲ノ鐵製ノ  
蹲リ 噴キ

滴々ト ノタレルサマ  
徒費 ムダニツヒ  
無用ノ鈍物 用ニタハヌ  
誰

カ知ラン 誰ガ知ツテ居ラウ  
〔此ノ語ハ下ノ「コトヲト」ト云ヘル語〕  
くらすい

愚弄輕蔑 默然 シテ居ルサマ  
原因 ヲ元ノオ  
制式 ヘ方  
徒ラニ

修繕 ツク  
偶然 フト、〇思ハ  
百般 サマ  
迅速 ニ極早

燃材 物タキ  
案 考ヘ  
妙計 善キ工夫

長距離 リノトコロ  
作業 トシゴ  
等シ  
晩年 老年  
潛メ 凝ラス  
學士

會員 有名ナル學者ガ集リ  
榮譽 面目ヲホド  
紡絲 炎天ニ曝シ

砂濾シ 數粒 ツア  
縁 梓  
手繰 上州富

岡 上野國北甘樂  
郡富岡町ナリ  
洋式 西洋  
裝置 仕掛チ  
識リ易キ 把柄 取ツ  
しら

嵌リ  
筒略 手ガルナ  
綿絲 イトメン  
り

錘 鐵棒  
學術 モン  
理學 物ノ理ヲキ  
發明 新

臥雲辰致  
紡綿器 イトトリ  
安曇郡 榮彌 足

省カバ 沮ミ コバム  
快快 タノシマザ  
孤峰院

人工 人ノ  
還俗 カヘルコト  
寓居 スルコト  
素志 ヲトヨリノ  
粗ク ト

住職 ヲシ  
僅ニヤツ  
細絲 イト  
凝シ ラメク  
開産社  
實驗 ニタ

メス  
勸業博覽會  
出品  
齒車  
圓筒  
廻旋  
絡

木  
糸ノマキツク  
底版  
權衡  
分銅  
吊  
細粗  
鐵線

詰メ  
年ヲ逐フニ隨ヒ  
如何程  
鳳紋賞牌

緯糸經糸  
改良  
輪邊  
鐵線

經線  
委ネ  
綿衣  
意トセズ  
精ヲ

勸マシテ  
藍綬褒章  
伊能氏  
佐

原町  
忠敬  
延享  
曆算  
家産  
復興  
元ノトホ

他ヲ顧ル  
外ノ事ニ心  
率先  
宿志  
笈ヲ負ヒ  
饒  
頌チ

頹然  
弱ハリ果  
六書故ニ類然ハ首禿ハハ  
宿志  
笈ヲ負ヒ  
テ負フハ即チ書籍ヲ

寓居  
高橋東岡  
推歩  
羅針盤  
卒へ

海  
途ニ上リ  
粗惡  
羅針盤  
卒へ

幽谷  
眞率  
外見  
意氣豪壯  
意氣ガミノツ

壯者  
年ガカ  
風濤  
瘴烟  
毒

霧  
彌リ  
輿地全圖  
功績偉ナリ  
整頓

實測圖  
實地ニ測量シテ  
差謬ナキ  
功績偉ナリ  
整頓

驚嘆シタリ  
忠敬ノ地圖ノ少シモマチガヒナキ  
聖  
地學協會

芝公園丸山臺  
芝増上寺公  
銅標  
智能  
德器

耕耘  
田ヲタガヤシ、草ヲ刈ルコ  
布設  
聖  
企ツ  
嘉み

耕心器  
トニテ耕作ト云フニ同シ  
ルコト  
聖  
區域

すへきも  
衰ムベキコ  
意外の失敗  
思ヒガケナキ  
聖  
區域

頻繁 <small>シゲシゲ</small>	私信 <small>ノ音信</small>	四寸 頒布 <small>世ニ布キ</small>	官業 <small>政府ノ</small>	寒
村僻地 <small>ヨリタル田舎ヲ云フ</small>	知己 <small>ビトリ</small>	小包郵便法 <small>〔重量一貫五百日容積ハ長サ曲尺二尺幅卅尺二尺厚サ限リトス〕</small>	手續 <small>ツツ</small>	辻々 <small>四ツ角</small>
架設 <small>カセツ</small>	概ネ <small>オホム</small>	加盟 <small>カノイ</small>	手續 <small>ツツ</small>	辻々 <small>四ツ角</small>
郵便函 <small>ユウビ</small>	取集人 <small>トリアツノニ</small>	受持區 <small>ウケモチ</small>	分類 <small>ブンルイ</small>	一括 <small>イツクツ</small>
方面 <small>ホー</small>	支局 <small>シキョク</small>	取扱所 <small>トリアツカヒドコロ</small>	一價法 <small>イツカホー</small>	道程 <small>ドウチ</small>
大層 <small>タイソウ</small>	備ハレ <small>ヤト</small>	骨折 <small>ホネヲリ</small>	賃金 <small>チンキン</small>	謂ハレ <small>ヒツケ合</small>
意見 <small>イケン</small>	建議 <small>ケンギ</small>	倣ッテ <small>ナフ</small>	官制 <small>クワンセイ</small>	外務・内務・大
藏・司法・文部・農商務・逓信	外交 <small>グワイコウ</small>	政務 <small>セイム</small>	軍政 <small>クンセイ</small>	軍政 <small>クンセイ</small>
事務 <small>コトカラ</small>	監督 <small>カンシク</small>	出納 <small>スイノウ</small>	軍政 <small>クンセイ</small>	軍政 <small>クンセイ</small>
藝 <small>ゲイ</small>	總務長官 <small>ソウム</small>	總理 <small>ソウリ</small>	專務 <small>センム</small>	專務 <small>センム</small>
屬官 <small>ゾククワン</small>	分掌 <small>ブンシヨウ</small>	官房長 <small>クワンボウチョウ</small>	參事官 <small>サンシクワン</small>	書記官 <small>シキクワン</small>
主務省 <small>シュムシヨウ</small>	閣 <small>カク</small>	方針 <small>ホーシン</small>	帝室 <small>テイシツ</small>	樞密院顧問 <small>スウミツイン</small>
閣 <small>カク</small>	組織 <small>ソウシキ</small>	宮内省 <small>クナイシヨウ</small>	作戦 <small>サクセン</small>	樞密院顧問 <small>スウミツイン</small>
官 <small>クワン</small>	諮問 <small>シモン</small>	出師 <small>スイシ</small>	元帥府 <small>ゲンスイフ</small>	稱號 <small>シヨウゴウ</small>
畫 <small>クワク</small>	參謀本部 <small>サンボウ</small>	府 <small>フ</small>	元帥府 <small>ゲンスイフ</small>	稱號 <small>シヨウゴウ</small>
醫學部 <small>イガク</small>	醫學部 <small>イガク</small>	法學部 <small>ホー</small>	工學部 <small>コウ</small>	工學部 <small>コウ</small>
豫備 <small>ヨビ</small>	豫備 <small>ヨビ</small>	理論 <small>リロン</small>	應用 <small>オウヨウ</small>	應用 <small>オウヨウ</small>
蘊奧 <small>ウンオウ</small>	蘊奧 <small>ウンオウ</small>	博士 <small>ハクシ</small>	師範學校 <small>シバンガク</small>	師範學校 <small>シバンガク</small>
良將 <small>リョウショウ</small>	良將 <small>リョウショウ</small>	士官候補生 <small>シクワンコホセイ</small>	養成 <small>ヨウセイ</small>	養成 <small>ヨウセイ</small>
兵術 <small>ヘイジツ</small>	兵術 <small>ヘイジツ</small>	普及 <small>フキキ</small>	傳習 <small>デンシユ</small>	傳習 <small>デンシユ</small>
選拔 <small>センバツ</small>	選拔 <small>センバツ</small>	普及 <small>フキキ</small>	傳習 <small>デンシユ</small>	傳習 <small>デンシユ</small>



高等國語讀本要解 丙册終

明治三十四年四月二十四日印刷

高等國語讀本要解丙丁

同 三十四年四月二十八日發行

定價各金六錢

編輯發行者

金港堂書籍株式會社

東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代表者

右社長

原 亮 一 郎

東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地

印刷所

帝國印刷株式會社

東京市京橋區築地三丁目十五番地

不許複製

賣捌所

各府縣下特約販賣所

